

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大衡村		H28～R2	H28～R2

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。  
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標	
総人口	5,850	4,897	5,716	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	3,050	2,876	3,269	113.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	52.1%	58.7%	57.2%	77.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1,575	1,700	1,676	98.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.9%	34.7%	29.3%	30.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	1,225	321	771	240.2%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

公共下水道の汚水衛生処理率が目標達成できなかった要因

総人口の減少率の見込みが下振れしたため、公共下水道の汚水衛生処理人口の増加率が村の総人口への寄与率が低くなったため。

合併処理浄化槽が目標達成できなかった要因

未処理人口の多い地域については、高齢化が進んでいる地域であり、くみ取り便槽からの転換が進みにくいことが要因となったと考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標年度 令和8年度まで

公共下水道については、接続人口は目標を達成していることから、今後も効率的な整備を推進していきたい。

合併処理浄化槽については、地域への広報やHPを活用し、合併処理浄化槽や汚水衛生処理の必要性和公共下水道の周知を行っていきたい。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の設置については、高齢化の進展により浄化槽区域における単独処理浄化槽やくみ取り便槽の転換が進みにくい状況であるが、今後の世帯構成の変化を勘案した整備計画の検討とともに、汚水衛生処理の必要性の周知をはかり、汚水未処理人口の解消につなげるよう努められたい。